

# 深山焼 ミニ灯笼

をつくるワークショップ  
15 cm程の焼物で外枠を作り、ろうソクを入れて  
中から光がもれてくるミニ灯笼です。

2018.  
**8.25** (土)  
18:30~20:30  
**8.26** (日)  
15:00~17:00

申込〆切：8/19 (日)

夢のカタチ  
が  
か  
な  
い  
ま  
す



▲参加者作品



講師の金田さん(中央)



ワークショップの様子

会場 白鷹町文化交流センター あゆーむ AYU:M

講師 金田利之 (深山工房つち団子主宰)

対象 小学生以上 ※後日作品をとりこられるかた  
※低学年は保護者同伴

定員 各回15人

参加料 子ども (小学生~高校生) 1,500 円  
大人 ----- 1,800 円

※各回とも1人1個(粘土1kg)の作品をつくります。  
※親子で1個の作品をつくる場合は子ども料金を適用します。  
※道具は当館で準備します。お気に入りの道具があれば持ち込み可。

あゆーむ  
特別料金です

持ち物 デザイン画 ※なくても作ることができますが、あったほうが  
より講師がアドバイスしやすくなります。

主催・お申込・お問合せ

白鷹町文化交流センター あゆーむ AYU:M 〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町大字鮎貝7331番地

TEL. 0238-85-9071

## 今年も展示・点灯します

作品は、9月29日(土)日没頃より「ゆらめき音楽会」で展示・点灯予定。後日館内で「深山焼ミニ灯笼展覧会」を行い、展覧会終了後に作品をお渡しします。今年作った作品は、来年の「ゆらめき音楽会」にもぜひお持ちください。

なお、あゆーむの開館記念事業として始まった深山焼ミニ灯笼事業は、10回目となる来年度(2019年度)で終了いたします。



点灯の様子

# とうろう ミニ灯籠をつくるときのコツ



ろうそくを入れたときの  
見えかたを想像しながらつくってみよう。

あな  
穴は  
ほどよく

穴が大きすぎると…

火がきれいに見えるけど、  
風で消えやすい！

穴が小さすぎると…

ろうそくを入れることができない！  
火が見えづらい！  
うわぐすりでふさがってしまう！  
(竹ぐしであけたくらいの大きさのとき)

ひとり  
ひとつ

ひとりひとつのミニ灯籠をつくろう。

ねんど ぜんぶつか おお  
なるべく粘土を全部使って、大きくつくろう。

ちぢ  
縮む

できあ すこ ちい  
出来上がるときに、少し小さくなるので、

ちょっと大き目かな…と思うくらいの  
大きさでつくろう。

## とうろう ミニ灯籠のデザインを かいてみよう。

講師の金田さんが、自由なイメージをカタチにできるようお手伝いしてくれます。この紙にあなたのつくりたいミニ灯籠のデザインをかいてもってきてください（別の紙でもOK）。

おなまえ